



2026 年 8 月 5 日

各位

上場会社名 東邦化学工業株式会社
代表者 代表取締役社長 中崎 龍雄
(コード番号 4409)
問合せ先責任者 常務取締役経理本部長 川崎 正一
(TEL 03-5550-3735)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2026 年 5 月 13 日に公表いたしました「2026 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、2027 年 3 月期の業績予想及び配当予想を未定としておりましたが、2026 年 8 月 5 日開催の取締役会において下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想について

2027 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想 (2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回発表予想	30,000	1,400	1,150	1,250	59.44
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2026 年 3 月期第 2 四半期)	26,003	890	758	522	24.87

2027 年 3 月期連結業績予想 (2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回発表予想	60,000	2,500	2,000	1,850	87.98
(ご参考) 前期実績 (2026 年 3 月期)	53,625	2,088	1,931	1,527	72.65

業績予想の理由

5月13日の決算発表時におきましては、ホルムズ海峡の事実上の封鎖の影響により、石油化学業界は、原材料の調達難と価格急騰に直面し、原材料不足による生産量の減少と原材料高による採算悪化との両面で収益へのマイナス影響が懸念される極めて先行きが不透明な環境にありました。そのため、2027年3月期の業績予想につきましては、合理的な算定が困難であったことから、未定とさせていただきます。

現時点においても不透明感が払拭された状況ではないものの、第1四半期決算を踏まえ、また、現時点で入手可能な情報に基づき連結業績予想を算定し、公表することといたしました。

売上高につきましては、原材料価格の上昇に伴う売価の上昇や電子情報産業用の微細加工用樹脂の販売増加等により増収を予想しております。

収益面につきましては、原材料高による採算悪化を迅速な価格転嫁によって抑え、増収による収益効果により営業利益・経常利益は前期比増益を予想しております。また、2026年7月21日付「投資有価証券売却益（特別利益）の計上に関するお知らせ」で公表したとおり、投資有価証券売却益の計上もあり、親会社株主に帰属する当期純利益も前期比増益を予想しております。

以上により、当社グループの2027年3月期の連結業績予想を上記のとおり策定いたしました。

2. 配当予想について

2027年3月期配当予想

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想	—	—	—
今回発表予想	0.00	25.00	25.00
前期実績（2026年3月期）	0.00	22.00	22.00

配当予想の理由

利益配分に関する当社の基本的な考え方は、配当の充実と内部留保の重視の両者をバランスさせていくことにあります。すなわち、収益力の強化を図りながら、株主各位に収益に対応した配当を充実させる一方、内部留保は、今後の事業発展と将来にわたる安定した収益確保のために必要な研究開発費や設備投資に備え、併せて財務体質の強化につなげていこうとするものであります。

2027年3月期の配当につきましても、上記基本方針に基づき実施する予定です。2027年3月期の業績予想等を勘案し、2027年3月期の配当は、2026年3月期の1株当たり22円の配当から3円増配し、1株当たり25円の配当を予定しております。

※上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上